

アカウミガメの産卵を発見しました

(H23. 6. 10)

5月末からアカウミガメの産卵時期に入り、高知海岸で産卵が確認されています。高知市立春野西小学校の4年生が産卵の様子を学習しました。また、海岸清掃も行いました。

▼海岸には、アカウミガメの足跡がくっきりと残っていました。



▼上がってきたアカウミガメは、高いところまで歩いてきて産卵しています。



▼4年生のみなさんが海岸清掃を行いました。



みんなで協力してゴミを集めました



▼ さあ、いよいよ採卵の様子を見学します！
保護活動を行っている熊沢佳範さんが、卵を探して砂を掘っていきます。



▼卵が60個見つかりました！4年生から歓声が上がりました。



卵は60個見つかりました。
大きさは、直径41.5mm、重さ38.3gと
大きめの卵です。

▼手に1つ取ってみました。柔らかいので、優しく持っています。



▼これから、春野西小学校のふ化場に移します。



▼この日に、昨年からお世話してきた、「ホープ」を放流しました。

甲羅の長さは、約 20 センチまで大きくなりました。産まれたばかりの頃は、約 7 センチ。立派に大きくなりました！



アメリカまで元気に泳いで行ってね！

- ホープは、少しずつ海へ歩いていき、春野の海岸からアメリカ目指して旅立っていきました。
- 昨年の4年生から引き継いで、お世話を頑張ってきました。ホープが何年か経って春野の海岸に大きくなって戻ってくると嬉しいですね。
- これからふ化場でのお世話が始まります。4年生の皆さん、大変ですが頑張ってくださいね！
たくさんの子ガメの誕生を楽しみにしています！